

# 第11回三好 いいじゃんまつり

三好の夏の風物詩、第11回三好いいじゃんまつりが、8月23日に三好稲荷閣周辺道路で、また三好大提灯まつりが、8月24日に三好稲荷閣で行われました。

いいじゃんまつりには、町内外から59グループ、およそ4,000人が参加。華やかな衣装を身に付け、「じゃんだらりん」と「ジャストローリング」のテーマに合わせて24曲、およそ2時間にわたり、軽快なリズムで踊り歩きました。なお踊りおもしろコンテストでは、初出場の「竜美」がいいじゃんグランプリを獲得しました。

また大提灯まつりでは、境内に飾られた高さ11m、直径6・5mの3つの大提灯のもと、午前10時から各地区の保存会の皆さんがおはやしや棒の手など、伝統芸能を奉納。そして午後6時30分には、大提灯に灯がともされ、境内は幻想的な雰囲気。その後、午後8時30分からは、1,000発の花火が打ち上げられ、まつりはクライマックスを迎え、訪れたおよそ3万人は、夏の終わりを惜しむかのように花火を見上げていました。

今回の広報では、二つのまつりの様子を写真でお届けします。



うた  
踊って 唄って 夢の輪を!



いいじゃんグランプリ受賞「竜美」  
7月から8回ほど集まり、一生懸命練習してきました。練習の成果が発揮できたと思います。来年は、さらにパワーアップして頑張ります。



## 三好大提灯まつり

